

ま え が き

平成4年度の当所の事業を取りまとめ、鳥取県衛生研究所報第33号としてお届けいたします。ご高覧頂き、ご叱声、ご批判を賜れば幸いです。

さて、当所は昭和23年8月に設立、昭和44年8月現在地に移転新築され、その後、公害関係業務の増加に伴い、公害研究部門が昭和48年4月に併設されている。

その時代の要請に答えながら、時代と共に幾多の変遷を辿って今日を迎えまもなく『半世紀』という大きな節目を迎えようとしています。

この時に当たって、当所の運営、発展にご指導、ご鞭撻を賜りました多数の皆様方に衷心よりお礼を申し上げますと共に、先輩の皆様が築き上げられました数々の立派な業績と血のにじむようなご努力に対し敬意を表する次第であります。

この間、わが国は産業の発展と経済の高度成長によって経済大国となり、また、医学の目覚ましい発展と公衆衛生活動の進展により世界一の長寿国となりました。

一方、わが国の繁栄と発展の裏側では、エイズ等の感染症の問題、地球的規模の環境問題、廃棄物の不適正な処理による悪臭・水質汚濁の発生など、私たちがとりまく環境の汚染は、深刻化する状況になりつつあります。

本県においても、水道水への水銀混入事件、松くい虫農薬の誤散布事件、大型のサルモネラ食中毒事件発生が相次いだ一年でありました。

行政当局と連携を密にして、原因の究明に、少なからず貢献できたものと思っております。

県民の健康と生活環境を守り、美しい自然環境を保全するために、今後ますます多様化する行政需要、県民のニーズを先取りしながら、所員一同研鑽して参りたいと思っておりますので、一層のご支援、ご指導をお願いします。

平成5年11月

鳥取県衛生研究所

所長 石田一成